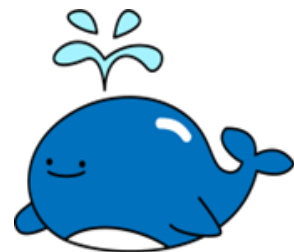


キッズポートえきさいだより



令和6年 夏号

暑い暑い夏が、やってきました。たくさん遊んで、いっぱい食べて、そしてしっかりと休息を取りながら、体の変化に気を付けつつ、暑い夏を元気に過ごしていきましょう!!



～夏に楽しめる氷遊び～

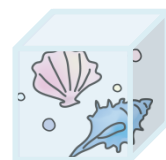
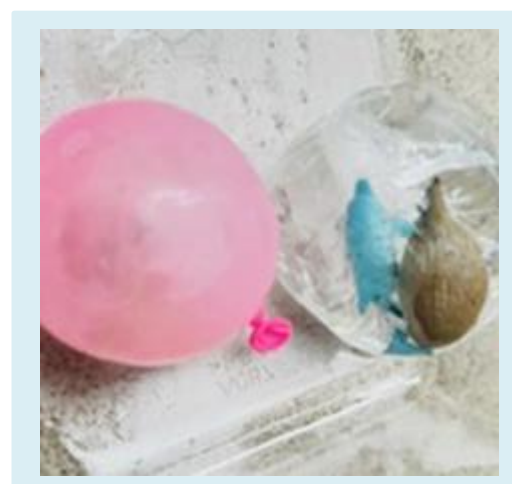
《作り方》

① 紙コップ、水風船、製氷皿・シリコン型等の容器を準備します。

② 容器や風船に水をいれます。
小さなおもちゃや、草花等入れたり、着色料で色をつけて楽しむ事も出来ます。
※風船で作る場合は水が飛び出てくる可能性があるので注意!!

③ 冷凍庫で凍らせるだけで出来上がり!!

一緒に作ってみることで、冷たさを感じたり、溶けていく様子を観察したり、子ども達にはとても魅力的な遊びになると思います。



注意!!

- ・口に入るサイズの氷は誤飲につながる恐れがあります。
- ・氷がとけて濡れた場所はすべりやすくなるので、必ず大人が見守り注意しましょう。
- ・氷を長時間触ると凍傷になる恐れがあります。触り続けられない様声をかけたり休憩する時間をとるなどして体が冷えない様にしましょう。

事故の無いよう気を付けながら、外遊びやプール、お風呂など様々な場所で楽しめると思うので、ぜひ試してみてくださいね☆

～熱性けいれんとは?～

夏に流行する感染症として、手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱(プール熱)があり、いずれも発熱する病気として知られています。
今回は発熱が原因で起こる熱性けいれんについて対処法をお伝えしたいと思います。

けいれんがおきたら…

まずは適切な対処ができるよう、保護者の方が落ち着いて下さい。

- 平らで安全な場所に寝かせ衣服を緩める。
※ゆすったり叩いたりしない!!
- 嘔吐する可能性があるため顔・体を横向きにする
※口の中に手や物を入れない!!
- 手足の動き→けいれんが左右対称ですか?
- 目の向き→どこを見ているですか?
- 顔色→青くなっていませんか?
- 体温→熱はありますか?
- 痙攣が何分続いたか確認する。

けいれんが5分以上続く場合は救急車を呼びましょう!!

★スマホなどで動画を撮っておくと受診時に役に立ちます。



病児・病後児保育とは

保育園に通っている子どもが発熱続きで、なかなか仕事に行けない…
共働き家庭が増えてきている近年では、そんな悩みを抱えている家庭も多いです。
そんな時に助けになるのが、病児・病後児保育です。



利用者数 47名

(令和5年4月～6月)
手足口病・溶連菌・アデノウイルスの利用が多かったです。



現在、キッズポートえきさいは新施設移転のため仮施設にて規模を縮小して運営しております。
ご不便おかけしますが、ご理解いただけますようお願いいたします。



保育時間：月曜日～土曜日 8:00～18:00
(日祝・年末年始除く)

電話：052-654-2858

保育対象年齢：生後6ヵ月～小学6年生

HP こちらから

